

かんきつ園の除草剤、タッチダウン液剤の少水量散布による省力化						
<p>[要約]</p> <p>かんきつ園の除草でタッチダウン液剤を利用する場合、薬量400～600mlであれば10アール当たり25ℓの少水量散布水量で効果が高い。</p>						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	雑草	対象	果樹類	分類	普及
平成4年度果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

タッチダウン液剤によるかんきつ園除草の省力化を図るために、少水量散布による殺草効果を検討した。

[成果の内容・特徴]

- ①効果の発現日は春草では散布8日後、夏草では2日後であり、完成日は春草は13日、夏草は7日程度である。殺草効果は低濃度区でやや悪い。
- ②草種は、カラスノエンドウ等の1年生雑草やイヌビエには効果が高い。
- ③抑草期間は春草が50日、夏草が70日程度であり、春草は梅雨前に再生するので問題はない。
- ④樹体への薬害は認められない。

[成果の活用面・留意点]

草丈が高い(40cm以上)場合には効果が落ちることがある。

[具体的データ]

第1表 春草に対する殺草効果及び再生

(1992.4.16散布)

薬	剤	薬量 (ml)	水量 (ℓ)	殺草効果			再生、抑草の程度		抑草 期間 (日)
				発現日 (日)	完成日 (日)	判定 ²	発現日 (日)	程度 ¹	
タッチダウン液剤		200	25	8	13	++	25	4	45
		400	25	8	13	×	25	3	50
		400	50	8	13	×	29	3	50
		600	25	8	13	×	34	3	50
ラウンドアップ液剤		250	25	6	13	×	34	3	50

第2表 夏草に対する殺草効果及び再生

(1992.8.17散布)

薬	剤	薬量 (ml)	水量 (ℓ)	殺草効果			再生、抑草の程度		抑草 期間 (日)
				発現日 (日)	完成日 (日)	判定 ²	発現日 (日)	程度 ¹	
タッチダウン液剤		200	25	2	10	+	30	5	70
		400	25	2	7	++	30	4	70
		400	50	2	7	++	30	4	70
		600	25	2	7	×	30	3	70
ラウンドアップ液剤		250	25	2	7	++	30	4	70

² - 効果なし + やや効果あり ++ 効果高い × 完全枯死

¹ 0 再生なし 1 再生わずか 2 10cm以下 3 20cm以下 4 30cm以下 5 30cm以上

[その他]

研究課題名：植物調節剤の実用化

予算区分：委託試験

研究期間：平成4年度（昭和52年～）

研究担当者：中倉建二郎

既発表論文等：長崎県果樹試験場業務報告，平成4年度

残された問題点：少量散布のために散布むらがでやすいので，散布方法の工夫がいる。